

令和7年度国営土地改良事業再評価「小阪部川地区」

技術検討会の意見

本事業は、小阪部川ダムの機能を保全するための整備を行うことにより、施設の長寿命化、施設の維持管理の軽減及び農業用水の安定供給を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することを目的としている。

令和6年度までの事業進捗率は、事業費ベース93.8%で主要工種の更新も完了し、令和7年度以降は付帯施設の整備を残すのみとなっている。

本地区では、県下有数の水田農業地帯において、水稻を中心に水田の畑利用等による大麦、大豆、野菜等を組み合わせた複合経営が展開されている。

総農家数や耕地面積は減少傾向にあるものの、経営耕地面積5ha以上の農家数は増加しており、農地集積や経営規模の拡大が進んでいる。

このような中、岡山県、関係市町及び関係土地改良区は、農業用水の安定供給を期待するとともに、一層のコスト縮減と事業効果の早期発現に向けた円滑な事業推進を望んでいる。

これらに応えるため、環境への配慮やコスト縮減に努め、関係機関と連携を図りながら、事業効果の早期発現に向けて着実に事業を推進する必要がある。